

2020年1月14日(火)
17:45~19:30

227 教室

特別授業

『香港危機の深層の読みとき方』

講師

倉田徹 立教大学法学研究科教授

1975年生まれ。2003-06年に在香港日本総領事館専門調査員。著書に『中国返還後の香港』（名古屋大学出版会、2009年、サントリー学芸賞受賞）、共著に『香港：中国と向き合う自由都市』（岩波新書、2015年）、編著に『香港の過去・現在・未来』（勉誠出版、2019年）、共編著に『香港を知るための60章』（明石書店、2016年）ほか。

初沢亜利 写真家

1973年フランス・パリ生まれ。上智大学文学部社会学科卒業。写真集に「Baghdad2003」「True Feelings 爪痕の真情」「隣人、38度線の北」「沖縄のことを教えてください」「隣人、それから。38度線の北」がある。東川賞新人作家賞、日本写真協会新人賞、さがみはら写真新人奨励賞受賞。植民地主義をテーマに写真作品を制作している。

ネット中継

周庭 香港バプテスト大学在学
香港衆志メンバー

2012年の「反愛国教育運動」の際、高校生の政治団体「学民思潮」に参加。2014年の雨傘運動では一時期、「学民思潮」のスポークスパーソンを務める。2019年の反逃亡犯条例運動では、日本語によるツイッターが注目されている。



東京外国語大学出版会、1600円＋税



akurata@tufs.ac.jp

倉田明子研究室